

会 議 録

会 議 名	第5回 三芳町学校再編等審議会			
開 催 日 時	令和6年2月6日（火）午後5時30分開会 午後8時閉会			
開 催 場 所	三芳町役場3階 会議室			
出席者氏名	会長	佐藤 和秀	委員	高橋 敦士
	副会長	宇佐見 宏一	委員	明石 沙絵子
	委員	岡野 雅一	委員	曾我 幸也
	委員	細谷 拓郎	委員	武田 和広
	委員	大澤 純之	委員	渋谷 勝
	委員	田畑 裕孝	委員	吉村 豪
	委員	松元 優子	委員	清水 恵美
欠席者氏名	委員	松村 明子	委員	西内 一夫
	委員	南雲 友香		
事 務 局	学校教育課			
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 議事（説明・協議事項） <ol style="list-style-type: none"> （1）前回会議録について （2）協議 4 諸連絡 5 閉会 			
会議経過	別添のとおり			
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論点整理表 ・ 他市町アンケート実施に係る設問例 ・ アンケート添付資料案 ・ 第4回三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会資料《抜粋》 			
会議録の確定	令和6年4月16日			

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
会長	<p>1 開会 2 会長あいさつ 3 議事（説明・協議事項） （1）前回会議録について</p> <p>事前に皆様の方にお配りさせていただいたところだが、会議録についてご意見は。</p> <p>（発言者なし）</p>
会長	<p>では、これを会議録とし、事務局の方で公開をしよう。</p>
会長	<p>（2）協議</p> <p>これまで審議会においては、町内小中学校の現状や将来像、いわゆる児童生徒数、あるいは教職員数の減少というような状況から、学校に関わる諸課題について様々な視点からご検討をいただいている。審議会としては、昨年度、三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会の答申を受け、三芳町教育委員会が定めた三芳町立小中学校適正規模適正配置基本方針に基づき、今後の学校のあり方、再編計画を検討していくことを諮問いただいている。</p> <p>第4回の審議会の中で、これまでの議論が多方面に渡っているので、項目を整理していくと良いというご意見を委員からいただき、今回項目ごとに整理をしながら委員の合意形成を図っていければと考えている。大きな項目として、一つ目は施設・財政面。二つ目としては教育効果。三つ目は、再編に伴うハード面やソフト面での整備に関わる部分。資料に、これまでの協議内容の整理ということでまとめてある。これに沿って、皆さんでもう一度見直していくというところで進めたい。</p>
委員	<p>この資料の位置づけを確認したい。答申記載事項、素案骨子と書いてあるが、ここに書かれてる内容を特段問題ないと言え、この文章のまま進んでいくような話か。中身に対しても、こういった内容でやるべきではないかとか、そういったこともこの議論の対象になるのかと思っていた。あくまでもたたき台なのか、こういった位置づけなのかを教えてください。</p>
会長	<p>細かいところについては、この後説明をさせていただきたい。これをたたき台に賛否をとるところではなく、こういう項目でというところで、それぞれ確認させていただければ。</p>
委員	<p>もしこれを基に話がどんどん進んでいくのであれば、その中身に関しても、各委員などの意見を聞きながら決めていく話かと思っている。資料がこういった根拠で出てるかが見えてこない。</p>
会長	<p>今までの議論の中で整理してきたもの。この後話をさせていただく中で、これまでの話を確認させていただき、ご意見をいただいきたい。</p>

委員	<p>議論するのは構わない。この資料をもとに固めていくというような議論の仕方は違うのではないかと思う。これでいい、駄目というような、まだそこまで議論ができるような準備ができていないのではないかという感想がある。</p>
会長	<p>今日皆さんにご検討いただき、それぞれの内容についてご理解いただければいいと思っている。</p>
委員	<p>議論は全然構わない。今日議論をして、ある程度これに対して賛否等、意見等が出て、この審議会の意見等が埋まったもので進んでいくというのはちょっと違うかと思っている。素案骨子が、事務局から出たものをそのまま通るというのも、本来であれば違う。</p>
会長	<p>事務局で考えたものではなく、審議会で出されたものを整理していただいたもの。</p>
委員	<p>今日の議論のための資料であり、後々そのままの文章で進んでいくわけではないことで良いか。</p>
会長	<p>諮問には、具体的な学校名が挙がっている。2つの小学校、3つの中学校の再編について答申をしていく。財政面がいくらというような細かい言い方をするわけではない。あくまで我々の資料。</p> <p>順序を変え、まず施設財政面。スクールバスのことがあるが、スクールバスのことは一旦置かせていただき、まず、小中学校平均して年間維持費、光熱水費や修繕等が1校平均で2650万かかるというところが出ている。ここは事務局から。</p>
事務局	<p>令和4年10月21日、第4回三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会においてお示しした資料を今回お出しさせていただきました。学校の施設の管理経費をまとめたものというのが載っており、管理に係る経費が平均約2650万円かかるという試算。人件費、町で雇っている会計年度任用職員の試算は小学校で730万円、中学校で約910万円。</p>
会長	<p>光熱水費、通信費、手数料、委託料、修繕料等がそれぞれ平均で2650万。人件費として、学校の教員は県費負担教職員で埼玉県から出ているが、授業の支援や子どものケア、支援に当たっていただいている町費の職員の人件費が小学校で730万円、中学校で910万。</p> <p>前回、前々回の方で出された学校の建設費用に関してだが、文科省の単価では1平米33万円で計算するという事になっている。上富小学校で3574平米ということで約11億7000万。同様に竹間沢小学校は17億9000万円。子どもが少なくなったからもう少し小さいところでいいだろうということで3分の2程度で計算したとして、上富小学校で7億8000万、竹間沢小学校で11億9000万ぐらいで計算ができる。ここに、今後の建設費の高騰や人件費の高騰などいろいろな諸条件が入ってくるとは思うが、今現在の積算。ここに、長寿命化の大規模修繕も資料にあったが、60/100で試算。</p>

	<p>もう少し規模の小さい大規模改修というところで25/100。結果、建設費をかけたぐらいの費用がかかるということで積算資料として出されている。これを加味し、町の公共施設マネジメント基本計画では、今後40年間、建替、修繕、長寿命化修繕、大規模修繕などを行っていくことを考えて学校の統廃合による縮減効果は41億5000万という数字が一つ出ているところ。これは人数が少ないから維持費が少なくて済むだろうとか、修繕費が少なくて済むだろうとか、教室も一つしか使わないから余っている教室は修繕しなくていいだろうというわけにはいかないで、全般的にかかる費用。小中学校を一つのところに作るというような計画も、今のところはないと前回話をいただいた。また、上富小学校の子どもが三芳小学校に移ったら三芳小学校の人数が増えてしまうので、1人当たりの校庭や校舎の占有面積が狭くなるだろうというような話もあったが、大きな違いは見られないというところもいただいたところ。お金のことを節約するために再編というのは主ではないが、まず財政面ではこのぐらいの費用がかかってくるというところ。</p> <p>これが、事務局の方から前回までに費用経費に関わるもので、いろいろ積算根拠を明らかにしながら説明いただいた内容。この辺でご意見等あれば頂戴したい。</p>
委員	<p>学校ごとの固定費の部分もあるとは思いますが、いろいろ調べると、基本的にはどこの市町も生徒数1人当たりの単価で捉えるところが多いというイメージを持っている。基本的には生徒の数とか先生の数、事務の人の数等で各種ランニングコストが増減するのかというイメージ。1つ学校がなくなったらその分そのまま節約できるという話ではなく、児童生徒がそのまま移動するので、それにかかるランニングコストは変わらないはず。いろんな費用の算定も児童生徒数あるいは教師数で算定されることが多い。運用面での縮減効果として、単純に1校分消えるみたいに出されているが、平均分なくなるイメージは持っていないが、どうか。</p>
事務局	<p>人件費は、1校当たりで子どもの数に関わらず同じというような形。</p> <p>施設関連の経費は、いわゆる経常経費の積み上げ。平成29年度から令和3年度までの5年間の関連経費を決算ベースで抜き書きしたものを学校数で割るという形で計算した。学校に係る経常経費としては、ここに挙げられているように様々な経費がかかる。この資料の目的は、1校の学校を維持するにはどのぐらいの費用が実際かかっているのかを委員の皆様を示すもの。確かに、児童生徒数から考えるというやり方もあると思うが、これはあくまでも実績ベースで実際にかかっている経常経費1校あたりいくらかかるかという目線でお出しさせていただいた資料。</p>
委員	<p>関係経費に関しては、統廃合の縮減効果を表すものではないということよろしいか。</p>
事務局	<p>縮減効果を表すものではないが、施設に関わる費用というのは大きく分けて二つあり、まずはその改築に関わる費用。もうひとつは経常経費。施設を維持するために一番大きいのは改築費用で数億から数十億円かかると言われているが、それに加えて施設を維持するための経常経費というの</p>

	<p>もかかってくる。縮減効果の一つとしても上げていただけると考えている。</p>
委員	<p>改築以外の費用に関しては、さほど縮減を表すものではないということ でよいか。</p>
事務局	<p>こういった費用も施設がなくなることによって削減され、恒常的にかか らなくなってくるという形になるので、これも縮減効果の一つであると考 えている。</p>
委員	<p>この資料をもって縮減効果の議論をするのは危険という感想。人件費の 方は、学校ごとに関連性がある資料ということで理解した。</p>
会長	<p>先ほど1校当たり2650万という平均があった。人数で計算すると2000万 円になるという数字が出るかもしれないが、そこまで細かく縮減効果とし て出すものではなくても、ここの皆さんで多少前後するかもしれないがこ れぐらいの費用の効果はあるということでご理解をいただくということ でいかがか。</p>
委員	<p>先ほど必ずしも財政面からの話で議論してるわけではないというよう なお話があったが、縮減効果として41億円という数字が出てくるのであれ ば、そこは議論の俎上に乗せなければいけない。金額が出たからには、こ の審議会である程度精査をしなければいけないと思う。蓋を開けたら縮減 効果が20億、100億と言うと、話が変わってきてしまう。数字を統廃合の 判断基準として使うのであれば、この審議会の中で、時間内というわけ でなくても判断をしなければいけない。先ほど会長がおっしゃった通り、 財政面は基本的には今回の話とは関係ないという話であれば、例えばスク ールバスの話や改築費用の話は議論の俎上に載せないというのも一つの やり方だと思う。時間もあるが、そこは方向性を決めた方がいいと思う。</p>
委員	<p>細かすぎる金額について議論するのは不毛かと思う。40年後の日本がど うなっているか、物価がどうなってるかわからないという状況。精査した ところで、上振れ下振れが絶対にある。今の方向だとインフレ基調で動い ていくと思うし、人工も少なくなっているというところで間違いなくここ で示されているものより金額として多くかかってくる。コロナ前とコロナ 後、今でもかなり違う。直接関係ないが、為替レートに対米ドルもかなり 動いているし、それが影響してコストアップ型のインフレが起きている。 今後世界、日本で何が起こるかわからない。細かいところは出すべきでな くて、大きな方向だけ確認できればいいと思う。この40年、20年、30年の スパンでの細かい金額は出すべきではなく、縮減できそうという大きなベ クトルを確認する程度にしておいた方がいい。</p>
会長	<p>現時点できっちり積算するというのは確かに難しい。様々な条件が変わ ってくる可能性もある。ただ、今、事務局の方から施設関連費、人件費、 建設費や改修費が大まかに出ている。これが、実際に積算したところ30億 台あるいは20億になったから、学校再編の縮減効果が減るなら検討しない</p>

	<p>というような方向に持っていくのはいかがなものか。費用はそれぞれの学校にかかる。もちろん、子どもが別の学校に移動すればその子どもたちの分だけ光熱水費も増えるとは思いますが、そこまで積算してというところではないかと思う。ここでの確認は、人件費、施設関連費等々の部分で、縮減効果があるというご理解でいかがか。</p>
委員	<p>市区町村の同じような統廃合を見ると、お金の話をする際には、必ず学校ごとの積算が出ている。ざっくりではあるが、単価いくら、延床もということを出ている。それを統廃合すれば、その分の建築費用は全くかからなくなり、新しい校舎を建てる場合には大体これぐらいを見込み、運営費用は大体これぐらいというような、ある程度の数字が出た上で縮減効果が書かれている。どの程度の精度かというのは各市区町村で違うとは思いますが、縮減効果がある、いくらかわからないけど、というのはちょっと問題だと思っていて、その中である程度の根拠を持っていれば、これは判断材料になると思うが、なんとなく実際に統廃合すると41億円と言う。住民の方がそれに納得できるのか。もしくは保護者、生徒児童が41億円下がるから、この学校がなくなっても仕方がないって思うか。なぜ41億なのかという質問に答えられないのは問題だと思う。精度の問題は当然ある。直近数年での単価や実績値を用いて、費用はどうなるか。これは、審議会の中で出せというわけじゃなくて、どこかのタイミングで縮減効果を持ち出すのであれば必要。財政面は気にしない、縮減効果があるのかないのかも、一旦は議論せずに統廃合の話を進めていくという話では、お金の話はなくていいと思う。</p>
委員	<p>教員の立場で言わせてもらおうと、やはり子どもたちがいかに幸せに暮らしていけるか、いわゆる教育的な効果がどれだけあるかということで統廃合を考えていった方がよいのではないかと思う。人数が少ない学校、単クラスで人数が少ないとなってくると、複数のクラスがあり、クラスの中に30人程度の人数がいる学校で学ぶのと比べ、細かい指導は行き渡るかもしれないが、今は協働的な学び、子どもたち同士で話し合ったりとかをする時代。そういったところの効果が、より子どもたちに良い形で現れるという面で統廃合を考えていった方がいいと考える。</p>
委員	<p>私も同様の意見。どこまでこの縮減効果ということについて議論すればいいのか、また議論しなければならないのかを、この会議に参加するたびに感じていた。この後、アンケートの項目等についても議論されると思うが、その中の他市町村の自治体の項目にも縮減効果という言葉は一切出てきていない。例えば、保護者がアンケートを回答するとき、賛成や反対というスタンスを決めて回答すると思うが、その判断材料として縮減効果がどれぐらいなのかを考えて回答するかどうかでも甚だ疑問。事務局から本日このペーパーが出されたが、私はこの程度で十分説明に耐えうるかと思っている。今後の維持更新コスト、従来型との比較ということで、5行に渡って簡潔にまとめられている。先ほど委員もお話された通り、これもどうなるかわからない。ただ、現段階のものとしてこうということがまず一つ。それと、説明を求められたとき、おそらく、役場や事務局には、説明材料がきちんとあると思うので、ここでそこまで細かく精査していなくても</p>

	<p>いいと感じている。何よりも、第一回の審議会でも申し上げたが、議論するに当たっては、子どものためにという軸をぶらさずに考えていきたい。今もその気持ちに変わりはない。先ほど別の委員からお話があったように、子どものために何がいいのかということをもう少し前面に出して議論すべき。</p>
委員	<p>子どもたちの実情を議論していくという方向性は、私も非常に素晴らしいと思う。今、委員から資料の5行で構わないという話があったと思うが、100万円単位で数字が載っている。根拠が役場にあるかもしれないと言うのであれば、この審議会に出ないのはおかしい。一円単位で正しいかどうかという話はしていない。本当に改築費用が3300万円で、人件費が730万円で、それが本当に縮減されるのか、もしくは増えるのか、別の要因があるのではないか。数字を出すからには精査しなければいけないし、子どもの教育的観点から行くのであればこの数字は出さない。しかも根拠となる資料が手元にないので、そういったものは出しては駄目だと思う。少なくとも、審議会で提示され、これならばこの数字は大丈夫、それなりの根拠があるが10年後20年後はわからないけれども、今の段階では、確かにこれぐらいの数字の根拠になりうるという合意が取れて初めてここに載せるべきなのではないかなど。</p>
事務局	<p>協議を伺い、細かく知りたい方と、大まかに分かれば良いという方がいらっしゃるというふうに捉えている。別途機会を設け、細かく知りたいという方に対して、担当課も呼んで説明をさせていただくというような形はいかがか。この資料に記載がある数字は、正しいものであることを前提に、一つご提案させていただきたい。</p>
会長	<p>公共施設マネジメント計画が示した41億5000万という数字が妥当かどうか、積算根拠が何であろうというようなところを議論する場ではないと考える。同様に、事務局の方から提出していただいた経費の細かい内訳を話しする場でもないと思っている。財政的な削減効果が、大きく分けると諸経費と人件費と施設があり、それがどれぐらいの削減効果が認められるというところでの委員皆さんの共通理解が図られていけばいいというふうに思う。具体的に細かい数字、内訳までというところは、別途、説明会等で聞いていただくというのもいい。皆さんの判断材料にはなるかとは思いますが、この場合は金額の妥当性等を審議する場ではないと考える。</p>
委員	<p>事務局の提案で私は構わない。この資料は、令和4年第4回三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会が出された資料で、あくまでもこの会議のための資料ではなく、昨年度の委員会で出された資料なので、その段階でおそらく根拠を持って出され、通っている資料だと思う。あまりここで細かく時間をかけて、このメンバーで議論するというのは時間もったいない。もし必要ならば、別途担当課の方に説明をしていただければ、全くそれも問題ないと思う。</p>
委員	<p>数字を使わないのであれば全然構わない。この資料、今後の議論に削減効果の話を出さないのであれば、根拠が今ここで示されなくても何の問題</p>

	<p>もない。41億の縮減効果があると資料として使うという話で町民にも説明するというからには、この審議会の中で根拠となる資料が出てこないのは異常だと思う。41億が妥当なのかどうか、誰も確認できない。数字は関係ない、子どもたちの幸せのために適正配置をするからお金は関係ないという話であれば、縮減効果というのはあくまでも施設マネジメント、行政の方で押さえる話で、今回の適正化の審議会では議論の俎上に載せないという話であれば、当然根拠はなくても構わない。数字を使うのであるならば、それなりの資料がなければいけないし、ないのであれば使わない。しかも、それが本筋ではない、時間をかけるような話でもないのであれば、この数字を使わずに議論をするというのが筋ではないかと思う。</p>
委員	<p>数字を使わないのも一つかと思った。41億5000万、非常に大きな数字で、町の方もいろいろと試行錯誤、調べながら出したと思う。その資料は絶対に出てくると思う。出てこなかったらまずいが。ただ、その出てきた資料が妥当な数字なのかを判断する能力が私にはない。専門家ではないので。細かい金額が正しいのかどうなのかを判断するのは、この審議会の枠を超えてしまうと思うので、他の委員もおっしゃっていたが、子どもを第一に、子どもの未来を、子どもの教育を第一に考えて審議会を進めていくのであれば、確かにこれ以上の数字を掘り下げていくのも、ちょっと会議の主旨が変わってしまうという気がするので、委員の言ったように数字使わないというのも一つの手だと思う。</p>
委員	<p>この資料は、委員の要求があって町の方でまとめてくれた数字。別の委員からもあったが、将来の数字というのはあくまでも予測に過ぎない。経済状態でものすごく変わる。個人的なことを言うと、私、40年間事業をやったが、計算があったことは一度もない。ただし、過去の数字は間違っていない。それすらもこの委員会で精査しなくてはいけないのであれば、そもそもこの数字を要求したこと自体が間違っている。町の方で、しっかりと関連経費等を調べて出してきた数字であれば、それは資料として尊重し、使わないではなく、添付しても何も問題はないと思う。その上で、肝心なことを早く、話をまとめていくべきだと自分では思っている。これとこれの根拠を、我々がどうやって調べるか。調べようがない。それは町が調べたものということで尊重して、次に行くべきだと思っている。</p>
会長	<p>事務局が出した数字は根拠がなく出ているものではない。施設マネジメント計画の方でも積算したものだと思うし、学校関連諸経費についても数年の平均値をとったところの数字。決して細かい根拠がないという数字ではないと思う。学校の諸経費、人件費、建設費、施設の修繕が必要という大きな三つの部分で、およそこれぐらいというところだけのところで止めておくということではいかか。</p>
委員	<p>出していただいた数字そのものの根拠を疑っているわけではない。実績値が違う、実績値の根拠を出せという話をしているわけではない。過去の実績値をもとに縮減効果を言うためには、その間のロジックが絶対必要。その部分が出ていない中で41億が出てしまっているということに関して、41億の数字が使えないのではないか。41億に限らずその縮減効果というた</p>

	<p>めの関数の部分。実績値はすごく参考になる。何度も言っているが、縮減効果を議論の俎上に載せるなら、細かい資料をもとにある程度の縮減効果が有る無いについて、ざっくりな話でもした上で、審議会として縮減効果が認められるので一つの判断材料とするという方向なのか、もう縮減効果の部分はいいじゃないかというふうに議論をしていくなり、その方向性を決めるべきかと思う。</p>
会長	<p>41億5000万という数字や事務局の方で出した人件費、年間経費の平均がこのぐらいというのが全部縮減になるかということと完全にそうではないかもしれないが、これらが今かかっている、統廃合によってはこれらの縮減が見込まれるというところで、説明を申し上げた。住民の皆さんは、そんなはずがないというふうな議論になるか。</p>
委員	<p>縮減効果41億の中にそれが入っているかどうか分からないが、例えば、今の三芳小学校も児童数の基準に従った延べ床面積で新しく建て直せば、それだけで今の規模の学校をそのまま建てるのに比べて縮減効果もそれで何億と出る。統廃合関係なく。そういったものが入っているとすると、それは統廃合の縮減効果なのか、ただ単に次の改築のときに、適正な規模に従ってある程度少し小さくなった学校を作ったことによる縮減効果なのか、そこら辺をちゃんと切り分けたりしないと、統廃合しなくても生まれる縮減は抜いていかなきゃいけないとか、縮減効果を議論に載せるのであればやっぱりそこら辺まできちんと考えないといけないと思う。</p>
事務局	<p>説明が前後するが、アンケートに添付して配布する資料(案)を作成した。学校施設の現状という項目があるのだが、縮減効果という表現がかなり議論されてきているということ踏まえ、縮減効果ではなく、学校維持にかかるコストの試算という形で示してみた。審議会としてもこういった形でお示ししていくというのはいかがか。</p>
委員	<p>他の委員からもあったが、子どもたちを第一に考えた学校再編という形で今議論している。そのときに、まず、どういう形態、どれくらいの子どもの規模、人数がいて、どのぐらいの校舎があればいいのかが明確でない。まずはどういう理想型があるのかを探っていき、その後実際にこの形態でやっていこうとなったときに、どういった経費がかかるのかを試算すればいいと思う。その中には、別の委員からもあったが、学校の規模を小さくすればいいという発想もあるだろうし、または統合してどこかに配置すればいい、そういった形態もあると思う。第一として、理想論として子どもたちにどういった学校を作るのかというところを一旦議論した上で、経費は議論してとすればいいのではないかと思った。</p>
会長	<p>どういう形を目指すのか、これは、去年の検討委員会が出された学級数、あるいは通学距離の部分が基本になってくる。それに当てはめて、それぞれの学校をどうしていくかというところの審議会の諮問内容だったと思うが、いかがか。</p>
委員	<p>それが固まっているということであれば、方法論の話になってくる。そ</p>

	<p>の一つとして、経費は重要。形態が決まっている、学校の児童のことを考えて形態が決まっているわけだから、方法論であれば経費というものはある程度しっかり見ていく必要がある。一方で、行政から出ている資料、この公共施設マネジメントに沿って出してきた数字がここで使われているということで、それに関しては行政も責任を持って出している数字だと思う。それはある程度の根拠があるというふうに仮定しないと、全てが狂ってきてしまうというか、ここで議論するのではなくて公共施設マネジメントを立ち上げる段階で、いわゆるパブリックコメントなどで議論しておかないと難しい部分があるかというふうに感じる。</p> <p>会長 改築費用や必要経費がこれぐらいで、逆にこのぐらいは費用がかかる、費用が削減されるということを、財政面として具体的に載せる必要はないのではと考えている。一方で、委員はこの場で資料として見ていただいているところ。ただ、今後の再編に関して我々がどういう方向に行って答申をしていくかというところでは、一つ持っていないてはならない資料であることは間違いないと思う。扱いとして、この委員の皆さんが、改築費、人件費、学校のランニングコストにかかる費用がこれぐらいだということろを分かっておいていただくというところによろしいか。</p> <p>(委員了承)</p>
	<p>会長 二つ目として、教育的効果というところでご審議いただきたい。これまで小規模校や中規模校、大規模校のメリットデメリットについてご意見をいただいていた。一つは子どもの学びの成長をどう保障するか、豊かなものにするかというような視点。もう一つは、職員の配置や働き方に関わる部分という視点も落とすにはいけない。一番重要なのは、これまで委員から出していただいたように、子どもの学びと成長をどう豊かなものにするかという視点で考えていかなければいけないというところ。これまでの意見では、人数が多くいた方が多様な教育活動が可能になったり、集団の中で多様な考えに触れて、協力して制作する機会がある、多様な人間関係、クラス替えも可能になったり、社会性が育つというふうなところで評価を受けることができるというような面がある。一方、小さな規模の学校だと一人一人に目が行き届くとか、活躍の場面が多くあるという意見があった。どちらもメリットもデメリットもあるが、より教育的な効果として考えると、一桁程度の人数しかいない学級集団よりも、大きな集団の中で多様な考えを得て学習していく機会の方がいいのではないかと感じているところ。教員の人数に関しても、特に中学校などは、数がいなくて教科担任を配置できないとか、部活動や教育活動に制限が出てくるところもあり、ある程度の学校規模が必要ではないかということも出てきた。教育面を考えていただくところではいかがか。</p>
	<p>委員 まず、子どものこと。基本方針のクラス替えが可能である1学年2学級以上というところを受けて、この審議会が立ち上がってきていると思う。今、法律的に言うと35人学級が小学校の1クラスの定員。36人になると2学級になり、36人いれば÷2で18人学級の2クラスになっていくというような試算で決まっている。そのクラス数が決まると、教員の定数が連動して決</p>

	<p>まってくるというような状況。先ほど配布のあった資料を見ると、上富小学校の1年生が令和11年度、5人で1クラス。今会長がおっしゃったが、これで深い学びまで持っていけるかどうかというようなところは懸念される。メリットで言えば1人の担任が5人を見ればいいが、前々回あたりのワークショップの中で、実際に小規模校出身の委員さんもいらっしゃり、大人になったときにもっと揉まれていけばもっと変わったんじゃないかというような意見もあった。そういったところから、2クラス以上になるような学年を作っていければいいと思う。合わせて、教員の数も多い方が学校の中でいろいろな仕事を分担、切磋琢磨しながら学校運営に携わっていけるというような点もある。そういった教育効果ということで、人数がある程度いた方がより良い教育効果が生まれるかと思った。</p>
委員	<p>三芳中学校は、上富小学校と三芳小学校の子どもたちが入学してくる。そこで7年間教諭をやっていると感じていたことがある。当時、上富小からは10~20人前後、必ず1クラス、三芳小からは3クラスとかが入学して来る。そうすると、上富小学校から来た子は三芳小学校の子たちにちょっと飲み込まれてしまう。自分が出せないような状態が最初続いたりする。揉まれているうちに生徒会長をやったりする子も出てきたりとかあるが、そういうのを見ていると、大人数の中で、子どもたちがああこうだ言いながら揉まれていくということはすごく大切なことなんじゃないかというのを7年間感じてきた。今も同じ感覚。ここにきて、上富小から上がってくる子どもが昔に比べてかなり減っている。そうすると、ますますその感が強く、最初から大人数の中でもまれてたら出てくる芽が、ちょっと摘まれている部分もあるのかというのを感じているところ。そうなったときには、それなりの人数がいて、行事も盛り上がり、子どもたちは行事で成長をするということもたくさんあり、学校が楽しいというふうになってくる。そうすると、不登校も減っていくのかというのを感じている。</p>
委員	<p>三芳町立小中学校適正規模適正配置基本方針、ここに書いてあることが端的に全てを表していると受けとめている。今の話にもあったが、子どもたちのことを考えると、ある程度の人数が必要だというのは言うまでもない。単学級、例えば今の上富小学校は単学級で1学年1クラス。それにはその良さはあると思う。ただ、今の子どもたちの現状というのを見たときに、ここ数年で不登校児童生徒の数がどんどん増えてきている。クラス編成はとても大事で、子どもたちの人間関係を見て、クラスをあえて分けたりだとか、あえて一緒にしたりだとか、子どもが一つ成長する機会、ポイントがクラス編成でもあると思う。そういう機会がないよりあった方がいい。そういう意味でも、単学級をやっぴり解消した方がいいと思っている。ただ、この後、議論になると思うが、通学方法だとか通学時間だとか、それは今置いて申し上げている。もう一つ気になるのが、今、教育の流れの中でとても大事にされている学校間の接続。これは、幼稚園、保育園から小学校へ上がるころ、小学校から中学校へ上がるころ、ここにいわゆる段差が非常にある。例えば小学校、幼児期の子どもというのは、遊びの中で学ぶ。例えば、砂場遊びをしながら人間関係を学んだり、言葉を学んだり。砂とか泥とかから自然の性質を学んだり、遊ぶ中で学んできているが、小学校は自覚的に学ばせる。次は国語の時間、漢字や文字を勉強し</p>

	<p>ます、算数の時間ですよ、とやっていくので、その環境に慣れることができない子どもがいるという課題が一つ。小学校から中学校のときには中1ギャップと言われているが、環境がガラッと変わる。小学校のときには、僕がいて大好きな担任の先生がいてという関係だったが、中学校に行くと教科担任制で、どんどん先生が変わっていく。部活が始まって先輩後輩の関係が入ってくる。中間・期末テストで、偏差値だとか順位だとかいろんなものが出てくる。そういうところでのギャップに耐えられずに、不登校の生徒が増えてきている状況。そういうことを解消する上でも、今、小中の接続がとても大事。単学級を少し解消して、いい方向に持っていければいいと感じている。</p>
委員	<p>今までのワークショップ等でも何回も発言してきたが、学級数に関わらず多くの人数の中で学ばせてあげたいというのがある。今の社会、世の中で非常に大事なキーとなってくるが、多様性に触れて欲しいということ。1学級10人のクラスよりは、1学年60人70人のクラスの方が様々な人がいると思われる。我々が過ごしてきた日本というサイズではなく、基本的に、今、様々な方がいて、人種、国籍、LGBTQ等の議論もあるが、いろんな思考、性的指向や性格的にも様々な人間と触れ合う可能性が高まっている。高校、大学、社会人になっていくに従い、早いうちにそういう方、自分とは違う方たちと幼少期から触れ合っていくというのは非常に重要なことだと思う。世界でいろんな人がいるんだということを知ることは、ひいては自己肯定感に繋がっていくと思う。自分が自分でいい。多様な価値観、多様な人々に触れる可能性はやはり大人数の方が多いと考える。</p>
委員	<p>皆さんが議論されていることに賛同。今年、上富小学校を卒業するのは10名。先ほど委員が言われていたことは確実にある。私も実際に体験した。今、保護者として何が不安かということそこだと思う。そこを早めに解消できないのか。そういう環境で育っていった方が良いと思っているし、自分も体験してきたところで意見を述べさせていただいている。保護者の方にも話を聞くと、やはりそこが不安だと常々言っている。そういう不安を解消するには、複数の関係性で早い段階から揉まれていくということが私は大事なのかと思っている。これは子どもが決められることではない。親として、保護者としても、ここは進めていっていただきたい。</p>
委員	<p>委員のお話や資料を見て、1点非常にまずいと思った。今、小規模校のデメリットと標準校のメリットしか議論されていない。本来であればフラットに、小規模校のメリットと標準校のデメリットも回答俎上に載せて議論をしなければいけない。標準校の生徒児童数が多いことに関するメリットというのは否定しない。クラス替えのメリットも理解をしているつもり。私の子どもは、標準校の小学校から標準校の中学校に行っている。その中で、クラス替えでも対応できず、他の学校に行ってしまうケースがある。例えばいじめ、不登校、親御さんの都合とかいろいろあるが、そういったケースは点在している。そのメリット、デメリットを議論するからには、数字等のエビデンスが必要なのではないかと。小規模校だと明らかにそういったデメリットの方が大きいという話であれば、一つの判断材料。実は小規模校にも標準校にもある問題ではないかと私は思っている。もし</p>

くは、トラブルになる構造が違うと思う。小規模校と標準校ではその構造が違うと思うが、小規模校は人間関係が大変で標準校は大丈夫かという、決してそういうわけじゃない。今、うちの子どもたちが行っている学校は小学校と中学校、道路を挟んだ10mぐらいのところにあるが、中1ギャップがある。中学に入って行けなくなるケースも、数としては上がっている。これは小規模校、標準校の問題なのか。どちらかという、規模に関係なく、どのように対処するかという問題だと思っているので、小規模校だと問題があるというので議論をしていくのは違うのではないかと思う。特に、資料中に「指導要領上の教育課程の推進に困難が生じる」という非常に強い言葉で書かれているのは非常にまずいと思っている。文科省もそんなことは言っていないし、実際、統廃合のガイドラインにも統廃合するパターンと、小規模校を維持するパターン、再開させるパターン、ガイドラインで1/3ずつ触れながらやっている。令和4年、5年においても、文部科学省で小規模校での工夫、事例を発表している。小規模校のメリットは当然あり、採用した市町村はメリットを生かしながら、デメリットをどうするか、教師を増やしたりするような事例がたくさん紹介されている。そういった意味で、ここで議論すべきは小規模校が駄目なんだという話ではなく、まずは小規模校はどんなところか、標準校はどんなところかを議論した結果、先ほどの多様性の話、非常に素晴らしいとも思うが、疑問があったのが、多様性イコール大人数とは言えない。むしろ、町内に小規模校もあり、標準校もあり、場合によっては中学校で君の学校そんなに少なかったんだとか、君の学校そんなに人数いたんだとか、それも一つの多様性なのかと。あるいは、この前も少しお話させていただいたが、人が多いところは合わないという生徒、児童、保護者がいたら、町内に小規模校があり、そこに行ける。これは町の多様性、町の一つの財産ではないか。ぜひそういった面でも皆さんに考えていただけたらと思う。

教師の人数確保問題もある。この問題は、実体験として標準校でも抱えている問題。教師が辞めた際には1ヶ月強混乱が生じた。代わりが見つかり、今では問題ないが、こちらもどちらかという小規模校だからというより、構造的に国の問題として、教師の数が足りない、採用人数が集まらないということがある。これは、国や県をあげて何とかしていこうという話になっている。働き方改革もだし、教師になれば奨学金を免除するとか、国の方もどうにかしようとしている。全体的な学校の構造の問題なのと思う。短期的に来年どうしようみたいな話は、現場が危機感として持っているのはわかる。毎年非常に苦労されてることは存じ上げているが、今後10年、20年、50年、100年を見据えたときも、教師の配置をどうしたらいいのか、それが小規模校があったら変わるのか、なかったら変わるのかみたいなところが、少し違うのではないかというのが率直な感想。

委員

先ほど不登校とかの話をしてしまったのでお話いただいたと思うが、念のため補足を。教育の世界に、これをやれば完璧だという手法は、まず大前提としてない。そこをご理解いただきたい。どんな学校でもいじめは起こり得る。言い過ぎかもしれないが、いじめがなくなることは、私はないと思っている。大事なことは、いじめは早いうちに芽を摘むこと。また人間関係にしても、標準校だからいいとか小規模校だからちょっと狭くなってしまうとか、一概には言えない。一般論として、クラス編成がないより

<p>会長</p>	<p>は、あった方が選択肢が広がる。また、教員の数が少ないよりは多い方が、教員1人当たりの負担というのは減る。校務分掌、先生の係活動だが、その種類は小規模校でも大規模校でも同じ種類ある。国語主任とか、算数主任とか。そうすると小規模校だと1人が抱える係が多くなってしまう。そういう一般的な考えで申し上げたので、その辺はぜひご理解いただければ。</p> <p>この審議会のワークショップ等で、中規模校のメリットと小規模校のデメリットだけを挙げたという意識はない。どちらもメリット、デメリットを出していただいた。その中で、今後の子どものニーズ等を考えた上で、どういう形がいいのかということ、皆さんと共通理解を図っていくことが大事。こちらが駄目とかということではなく、より良いのはどちらだろうというところで考えていただければいいかと思っている。また、小規模校でオンライン授業や合同授業ができるかということもあった。前回事務局から説明があったが、やはり教育的にそぐわないと言うか、効果が薄いということ、学校選択制は今のところそういう考えはないというところ、あるいは、全国的には紹介されているような特認校制度なども、三芳町では考えていないという説明もあった。その辺も、これまでの議論を踏まえて考えると、小規模校よりは、ある程度クラス替えも可能である2クラス以上の学校を目指していった方がいいのではないかとこのところ、ご意見いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>三芳町小・中学校適正配置の基本方針、これに基づいて適正化、統廃合を考える、この基本的な考えがきちんと守られる運営をするにはどうしたらいいかということで、私達はここに集められたと思っている。その中で、当たり前だが、子どもが一番。子どもが一番ということを考え、この基本方針を守っていく中で、どうやったら、できる限りいい運営とか、子どものケアだとか、通学だとか、そういうのができるか、ということで考えていくべきだと思っている。統廃合はしないと、この基準には我が町ではもう合わない。私的な話だが、私は愛媛県の出身で瀬戸内海の島の生まれ。少し大きい島だが、瀬戸内海は、同じ街の中でも子どもが3人しかいない島もある。隣の島に通学できないような距離にあるときは統廃合も何もできない。3人でも学校運営をしていかななくてはいけない。三芳町は、そういう地域ではない。残念ながら交通の便にいろいろ問題があり、距離とかも問題だが、きちんと基本方針の中にあるように、登下校において児童生徒の心身に過度の負担がないように配置するとか、人間関係とか、そういったことをどうやって守れるか、これからどうやったら作っていかけるかを考えながら、絶対的に早く推進していかなくてはならないと自分では思っている。ちょっと乱暴な意見かもしれないが、子どもがあくまでも一番と考えると、そういうことを一つ一つ早く決めていくべき。</p> <p>最後に、基本方針の距離だが、小学校3キロ、自分ではちょっと無理な距離だと思っている。鶴瀬の駅まで3キロ歩いて行っている人は何人いるか。大人はほとんどいないと思う。その中で子どもを3キロまでは歩かせるというのも、本当はちょっと無理があるような気がする。例えば、統廃合ができた、2.9キロの子どもは歩かないといけない。3キロから上はバスに乗っていくことができる。そんなのはちょっとおかしいと思ってい</p>

	<p>る。それはもっと先の話かもしれないが、歩いて通学できる距離というのは、自分では今の時代、もっと短いのではないかと思っている。補足だが、付け加えておく。</p>
<p>会長</p>	<p>今、委員のご意見をまとめていただいたところがあるが、この適正規模というところから考えていくと、町の基本方針に則っていく。皆さんご承知、ご理解いただいた上で、適正規模を目指していく方向ではいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>基本方針の話があった。三芳町の教育行政においては、基本方針が基本的には使われていくだろうが、考えなければいけないのは、一人一人の児童生徒の幸せのために、より充実した教育のために行う話であるというのが、多分大前提。子どもたちの権利を考えれば、当然のことだと思う。学校見学や住民の方、子どもたちともお話をさせていただいた。今の環境に誇りを持っている児童生徒、たくさんいらした。そういった子どもたちの、小規模校のメリットが大好きなんだという思い、これに対して町がどこまで対応できるのか。それを議論するのがこの場ではないかと私は思っている。議論し尽くした結果、そういった子どもたちに対しても、標準校への統廃合は幸せに繋がる、そういう結論が出れば、それはとてもいいことだと思う。一方で、今の小規模校という存在は、ある一定の子たちにとっては何よりも代えがたい場所になっているというような話があれば、私達が考えるべきは、それを残す、もしくは何らかの形でその思いを大事にできるようなことができるのかどうなのか、もしくは議論の時間が足りないのか、そういったことを丁寧に議論する。それが私達の責務ではないかと個人的には思っている。いかがか。</p>
<p>会長</p>	<p>小規模校のメリット、それは委員の皆さんご理解いただいていると思う。一方で、先ほどから言われている小規模校のデメリットもある。同じように、中規模校、大規模校のメリット、デメリットもあるということで、どちらがいいか、絶対こちらがいいからこちらが悪いという議論ではない。形を選ぶとしたらどうしたらいいかというところで、基本方針であり、また少人数がいいという子どもたちに対してどうやってケアをしていくか。ここに関しては、この後ちょっとまた触れさせていただく。通学など、登下校のこともあるが、そちらでの配慮事項、要望として、答申でも出していけるのではないかとと思っているがいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>ケアに関しては、統廃合という結論が仮に出た場合にやらなければならないというのは当然。私の話はその前に、本当に小規模校をなくすということが、全ての児童生徒にとって、幸せなことなのかどうかの議論を避けて通れないと思う。林町長も、事あるごとに誰一人取り残さない、これが町政の根幹だと言っている。児童生徒一人一人の思いがどうなのか。この部分は決して外れない。そうした側面から見ても、小規模校があった方がいいのかわからない方がいいのか、ここの部分は、議論をきちんと丁寧にしていけないといけないんじゃないかと思っている。いかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>委員のご意見はもっとも。学校にはいろんな子どもがいる。今の学校がいいという子もいれば、その反対にもっと大きいところで学びたいという</p>

子ども絶対いる。それだけ子どもの意見、考えというのは多様。誰一人取り残さないという町長のお考えは本当に素晴らしい、まさにその通りだと思うが、そこで言う「取り残さない」の意味というのを確認した方がいいと思っている。取り残さないというのは、全ての子どもの意向に従うことをもって取り残さないのではなくて、いずれ統廃合するかしないか、どちらかにこの審議会で決まる。そのときに、今の学校がいいと言っている子の要求には応じることはできなくなってしまう。ではその子が取り残されるかというところというわけではなく、その子に丁寧に説明、説得したり、これからのその子のことを考え、いろいろと指導したりアドバイスしたりしていく。それは我々ではなくて、教育委員会や学校の先生の仕事になる。子どもの判断についても、おそらく子どもの中には、本当に適切に判断して、今の学校のままがいいと言っている子もいるかもしれないが、我々は大人、人生の先輩として、いや、そういうふうを考えているけれどもこういう良さがあるんだということをもって、ここで決めていく。我々は我々の視点でやっていくしかないのかなということも思った。

委員

一つ提案だが、形式上、答申は統廃合するしないという形を出すのが一般的ではあると思う。ただ、同じような議論をしている他の市町村を見ると、数がたくさんあるわけではないが、議論尚早、さらに継続、もしくは一定期間を置いた後、再度議論というところもある。個人的には2択に絞らなくてもいいのかと。今、議論となっているところが、あとほぼ1年で、子どもたちにとって理想の答えが出ないのであるならば、そこは英断を持って先延ばしという選択肢もゼロではないのではないのか。逆に言えば、もしそうなった場合はそうするのが子どもたちにとっての責務ではないかと思う。限られた時間の中で、必ずイエスカノーかを出さなければいけない、これは子どもにとっての話なのかどうなのかは考えなければいけないと思っている。どちらかによれば、行政としてある程度いろんなことがシンプルになってくるとするのは当然理解をしてるつもりだが、先ほどの誰一人取り残さないという意味では、選択肢が子どもたちにあることが大事なのではないかと思っている。多様性があるので、標準校はいいと思う児童、小規模校がいいと思う児童、もしくは合っている合っていない、今の環境から抜けて別の環境で学びたいという人が選択できる場所がある。これは子どもたちにとっては非常に心強い話になると思う。先ほど、私の子どもたちの標準校の話を見せていただいたが、いろんなトラブルがあって学校を変えられている。100%じゃないが、学校を変えることで軽減化するようなトラブルもたくさん見ている。そういった場所が複数あるというのは、町にとって、子どもたちにとって心強いのではないか。これが、子どもたちが減ることによって学校も減り、今回もし統廃合が行われると、小中のメンツが変わらない、そこで人間関係の固定化も生まれてきたりとかする。もしかしたら、学校をある程度減らさないことによる子どもたちの幸せもあるのかもしれないと私は思っている。一般的な意見としての標準校のメリットは理解している。多くの子どもたちにとっては、おそらくそれが普通に豊かな教育環境になると信じている。一方で、そうでない子どもたちが必ずいる。そこに対して小規模校ができることがあるんじゃないか。この観点は、押さえて議論をしていきたいと思う。

<p>会長</p>	<p>そのような状況もあるが、昨年度の検討委員会および教育委員会では、三芳町の児童生徒数の推移を見ていく中で、やはり2学級以上の学校が必要だということで方針が出ていると認識している。もちろん、そこでも小規模校・大規模校のメリット、デメリットというところも話し合われた中で、この基本方針。今年の審議委員の皆さんにも、メリット、デメリットがあるというところで議論いただいたところだと思う。そういった中で、よりこの基本方針に将来の方向を寄せていくという必要じゃないかと考えている。当然、そこで考えられる課題などはいくつか出てきていると思うので、その辺は整理をして、進める上ではきちんとクリアして、配慮してということ町教育委員会の方に出していく流れになっていくのではないかなと思う。</p> <p>一つここで確認をさせていただきたい。教育的な効果、学び、育ちというところを考えると、町の基本方針に寄せた適正規模、適正配置が必要ではないかというところに、これから議論を皆さんで進めていくという方向性を出させていただくのはいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>個人としてその方向で議論をするということに関しては反対。より丁寧に、再編についてどう思うかというところを議論していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>他の委員はいかがか。ぜひこの中で、憂慮される、配慮が必要な点というところを出していくということで、解決を図っていく方向にいきたいと思っている。この審議会の方向性として、町の基本方針に基づいて学校規模等の適正化を図る。具体的に言うと、単学級の学校というのは2学級以上の規模の学校規模に再編していく必要があるというところで、今後、小規模校のメリットも活かせるような学校作りにはどうしたらいいかと。そういうところで、最後提案いただくという。ぜひ、方向性を出していきたいと思っている。</p> <p>時間が超過してきた。先ほどの議論の整理の中で、施設設備・財政面、教育効果が出ているが、それ以外、統廃合を進める中で、懸念される材料として、これまで委員の皆様から出されているものはいくつか挙げられている。ここでは確認をしていくが、この審議会で、その解決の方法を具体的に出すというところではなくて、こういう点はきっちり考えた上で統廃合を進めてほしいというところの部分になるかと思う。一つ目が通学方法。距離が3キロ、そこをどうするかというのはまだ先だと思うが、心身の負担や安全面を配慮するための安全な登下校の手段の一つを考えていくということで、例としてはスクールバスのことがここに載っている。方法がスクールバスになるのかデマンド交通になるのか、あるいは公共交通機関を活用するのかというのはまた次の段階かと思うが、予算的な試算として一つ出しているところ。これがどういう方法になるのかというのはまだわからないところではあるが、少なくとも安全な登下校の手段は確保してもらいたいところ。二つ目として、子どもたちの放課後の過ごし方について。学童保育をどうするかというようなことや放課後の時間をどうやって確保していくかということも懸念材料として挙げられていた。また、学校の避難所としての役割、跡地利用をどうするかということも出てきていたと思う。具体的に何に使えるではなく、今後配慮してほしいことというところで挙げられると思う。また、先ほどあった児童の心のケ</p>

	<p>アの部分をどう図っていくか。委員の意見の中からは、統廃合すると決まったら、その小学校同士で交流活動をするとかそういう意見も出されていたと思う。さらに、二つの学校が合わさることになるので、どのような教育活動を行っていくか、いわゆる教育課程、それをどのように進めていくか、あるいは子どもたちへの指導をより手厚くしていくにはどうしたらいいかということを考えていくこと、施設設備の充実だとか、また、校名、校章だとか校歌をどうするかというお話もあったと思う。さらに、地域の方への説明、意見聴取をしていくという検討も必要だということで申し入れていかなければいけないと私の方で整理、考えている。今後の方向性として、先ほど申したように、それぞれの学校の規模によるメリット、デメリットがあるということは重々皆さんご理解いただいた上で、町の基本方針にのっとって学校規模を考えるためには、全小規模校を再編していく。その中で、要望を答申にあげていく形でいいかと考えているが、まとめ方、方向性等についてご意見あれば。</p>
委員	<p>今までの議論と今の会長の話、基本方針のお話が非常に多く、イメージとしては基本方針が一番で、特にまとめの部分ではそうになってしまう。仮に、基本方針が子どもたちにとっての最適解だというような前提があるとしても、この審議会では私達個人個人はそこはわからない。基本方針をそこまで出されるのであれば、基本方針が本当に子どもたちにとってベストであるというようなことを確認し合う時間が必要。基本方針がかなり大事だということを、皆さんで了承しましょうというのはちょっといささか乱暴ではないかと思うのが1点。仮に、その基本方針に従って統廃合を具体的に議論していきましようとなった際、おそらく一番大きいのは、実際の統廃合の時期と、住民や保護者、児童生徒からも大きな反対があった場合どうするかという点だと思う。その点に関しては、ある程度この審議会の中で議論するべきではないかと。きちんと記録に残る形で、それに対してどうしていくかがないまま、なんとなく統廃合でいくというような結論は出せないと思うので、基本方針の部分と実際に統廃合の話になる際にその要点の部分、そこに関しては、押さえなければいけないと個人的には思っている。</p>
委員	<p>基本方針はもうこれでいいと思っている。ここで基本方針がいいかどうかを議論する必要があるのかという疑問を抱いている。この基本方針を打ち出し、策定するに当たっては、検討委員会で何回か検討した結果、出ていると思う。参考資料集の中にも、実施されたアンケート結果が載っている。かなり丁寧なアンケートだと私は受けとめている。例えば、設問3として、児童生徒数の学級数の減少による影響についてということで、以下のアからシの影響を想定している。どう思うかということで、保護者、教職員、学校運営協議会の委員にまでアンケートをとって、その上で、基本方針が出されていると思う。先ほどから丁寧な議論とおっしゃっているが、何をもちょう丁寧と言えるのか、その辺もわからない。私としては、こういう経緯があって出てきている基本方針なので、これを今更否定する、審議する段階、場ではないと受けとめているが、皆さんはいかがか。</p>
委員	<p>この基本方針がまずあって、我々は集められたのではないか。これから</p>

	<p>基本方針のあり方の是非を議論するのであれば、申し訳ないが、私はもう受けられない。この教育委員会が決めた基本方針のもと、この枠の中で議論を進めるといふのであれば、一PTA会長として出てきているが、意見をすることができるが、基本方針をいじるといふことは私の仕事ではないと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>これまでこの審議会としては、メリット、デメリット、財政的なものもベースとしてまずは理解していただくために、意見を出していただいたり資料を読み込んでいただいたりしたところ。そこで、基本方針を基に統廃合を進める上でどういう課題があるのかというところで、今後検討していく方向で進めたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>一番最初に確認させていただいたのは、この審議会、決して統廃合ありきではないというところ。一方で、今のお話で言えば、形としてはもはや統廃合在りきで議論をしていく、基本方針に沿って統廃合の議論をしていくという、そういうことなので、当初取った確認とは異なる。統廃合そのものに何か問題があるのではないか、別の道があるのではないか、もしくは結論を出さなくてもいいのではないかというようなことを議論することは、この場では許されないということによろしいか。</p>
<p>会長</p>	<p>統廃合ありきではないが、基本方針に則り、三芳町の学校の在り方を考えていく上で様々なメリットやデメリット、財政面のことを出していただき、皆さんと現状を確認してきた。この基本方針に則り学校の再編のあり方について考えていただく上で、やはり小規模校ではなく再編をしていく方がいいという共通理解を図っていくことでよかったと思うが。</p>
<p>委員</p>	<p>もし仮にこの場で、次回からは統廃合を議論するという話になるのであれば、それは統廃合ありきと判断せざるを得ないと思う。皆さん子どものための審議であるという大前提に立てば、すぐに結論を出す話ではなく、私も一委員として明確に反対を唱えている。議論がし尽くされて、満場一致をもって統廃合なのかと。議論の時間が全然足りていないのではないかと。非常に大きな話で、なんとなくフワッと決めていい話じゃない。それは皆さん、同じではないか。今後の10年、50年、100年を決めていく話。もし時間が足りなければ、時間を追加するなりしなければいけないし、時間がまだ足りないんじゃないかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>本日までで5回の審議をいただいた。委員の皆さんも、まだ時間が足りないというところか。その辺のご意見をいただきたい。私としては、昨年度の教育委員会の基本方針に基づき、学校規模ごとのメリット、デメリット等の資料の提示を受けて議論し、十分考え、方向性は出せるのではないかとこのように思っている。皆さんいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>確かに統廃合ありきの議論ではないんだと思う。一方で、これまで何回かにわたり議論してきたことの中心が、経費だとか、予算だとか、その辺の話題に費やした時間が多かった。今日初めて子どものことを考えて、子どものためだったらこっちの方がいい、あっちの方が、こうした方がいい</p>

委員	<p>という議論出たと思っている。先ほど申し上げたのは、あくまでも一委員としての意見。それを大前提として、みんなでやりましょうということではなく、おそらくそれぞれ感じていることがあるかと思う。</p> <p>方向性を決めるには、まず今計画しているアンケートの結果は必須ではないかと個人的には思う。仮にここで方向性を決め、その後にアンケートで想定外の状況になった際、混乱してしまう。個人的にはもう少し議論をという話もあるが、アンケートで、保護者の方や該当する児童生徒、地域の方がどのように思っているか、この結論を皆さんで共有して議論した後の方向性かと思う。</p>
会長	<p>再編に当たって懸念される事項を皆さんからいろいろ出していただいた。具体的な内容の中で、住民への合意形成をどうしていくかということが一つ課題とされていたと思う。説明会をするのか、アンケートをするのかというところだったが、説明会はある程度形ができてからでないと難しいということもあり、アンケートの案を事務局で考えてもらっているところ。いずれにしても、今日は、子どもの学びと育ちをまだまだ改善しなければいけないというところは、確認していただいところだと思う。そして、町の基本方針も無視できるものではなく、これはだいぶ大事なことだと思う。また、財政の部分の話もいただいたところ。これに実際に統廃合に関わる保護者の方々の意見もアンケート等をとった上で、次回の審議会で方向性をしっかり決められるかと思っている。</p> <p>では、アンケートの実施について、事務局願います。</p>
事務局	<p>(アンケート例及び参考〔付随〕資料について説明)</p>
会長	<p>アンケート例は他市町のものを参考にして、項目立てをしたもの。アンケート実施に当たっての参考資料ということでもいただいた。このアンケートについてはもう少し整理していき、アンケート実施ということになると思うが、その前には皆さんにご意見をいただき、ご了解をいただいた上で実施ということになると思う。何かアンケート例あるいは参考資料、これを載せてほしいとかがあれば。</p>
委員	<p>参考資料に使われている数字は基本的には実績ベースで、そこに関しては問題ない。一番最後のページは、若干精査が必要。例えば、「再編などについて現在検討中です」という文言がある。おそらくこれが、この件を知っている町民の方、もしくはこれで再編のことを知った町民の方が思う素直なイメージ。今、再編の有無について検討している、これに実態を合わせないと駄目だと思う。あとは細かい話だが、「3年程度を見込む」というのは、最短で再編となったときに3年ぐらいかかるという話だと思うが、この数字が1人歩きしてしまう可能性もあるので、入れるならば最短だと3年ぐらいはかかるし、3年以内は無理ぐらいにしておかないと。そこは非常に慎重にした方がいい。最後の記述も少人数制のメリットが3行、デメリット6行ということで、資料はフラットであるべきだと思う。実績値が入っているのは非常に良いが、実績ではなく思いが入ってくる部分、もしくは賛否があるようなものに関しては、できるだけ内容をフラッ</p>

	トにいただければいいかと思う。
会長	今いただいたご意見を加味して、アンケートの項目、その他の調整をさせていただきます、委員の皆様以案を示させていただいた上で実施という形でよろしいか。
事務局	今年度中にお集まりいただいて実施というのは難しいかと思うので、メール等でのやりとりということでよろしいか。
会長	<p>集まってというのは難しいのでメール等で送らせていただいてご意見をいただきたいと思う。よろしいか。</p> <p>それでは、アンケート結果が出て、年度が明けた4月になるのではないかと思うが、そこで方向性を出していけたらと思う。</p> <p>では、以上で議事の方は終わりとさせていただきます。</p>
	<p>4 諸連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回の審議会日程を【4月9日（火）17時30分～】とすることについて確認。場所は追ってお知らせすることとした。
	5 閉会